

News Release



2008年9月9日

BASF、商業生産に対応したハロゲン化有機亜鉛試薬を発売

➤ Rieke Metals 社との独占ライセンス契約により、新たな製品群を実現

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は、2008年9月30日～10月2日に独フランクフルトで開催される「Convention on Pharmaceuticals Ingredients」(CPHI Worldwide)で、商業生産に対応したハロゲン化有機亜鉛試薬の新たな製品ラインを発売いたします。今回の新製品は、米国ネブラスカ州リンカーンの Rieke Metals 社からの独占ライセンスによって実現したものです。

これらの有機金属試薬は、クロスカップリング反応を行うことで、医薬品や農薬、ポリマー合成での複雑な分子の合成が可能となります。

BASF 無機スペシャルティ事業本部の新規事業開発担当スペシャリスト、クリストファー・サットンは、次のように述べています。

「グリニャール試薬などの有機金属化合物は、有機合成の中間体として定評があり、幅広く使用されています。その反応性の高さにより、これらの物質はこれまで、望まれる官能基を導入することに限界がありました。有機亜鉛ハロゲン化物試薬を製品に加えることで、BASF は今後、現時点では大規模な入手が困難な炭素 - 炭素結合のクロスカップリング反応向けに新たなソリューションを提供できるようになります」。

お問い合わせ:

BASF ジャパン株式会社

大倉 真紀

TEL: 03-3238-2341

FAX: 03-3238-2514

maki.okura@basf.com

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ

住所: 〒102-8570

東京都千代田区紀尾井町 3-3

TEL: 03-3238-2341

FAX: 03-3238-2514

<http://www.japan.basf.com>

ハロゲン化有機亜鉛試薬は、銅、パラジウム、ニッケルといった遷移金属の存在下でさまざまな求電子試薬と反応することができます。こうした反応性と官能基選択の許容度が組み合わさることで、多機能性分子を幅広く利用できるようになり、保護・脱保護工程が不要になります。

BASF の無機スペシャルティ事業は、一貫した高い製品品質とサプライチェーン能力により、研究の初期段階から商業生産段階に至るまで、お客様のご要望を支援いたします。

BASF は、標準グレードと特殊グレードによる無機製品およびサービスのポートフォリオで業界屈指の品揃えを誇り、ライフサイエンスなどのハイテク産業用途を対象とした高価値の化学試薬に注力しています。BASF の無機化学品事業は、アルカリ金属、アルコラートなどの強塩基、ボロン試薬、ボラン試薬、ヒドロキシルアミン、カルボニル鉄粉と、多岐にわたる画期的な作業用途向けの高純度無機薬品を対象としています。

BASF は、医薬品、エレクトロニクス、自動車、農業、プラスチックなど、さまざまな業界において市場が急速に変化する中、お客様のビジネスがより大きな成功を実現できるよう支援いたします。BASF は、独自の技術と専門的な人材の組み合わせによって、カスタムメイドのソリューションを実現しています。詳細については、www.inorganics.basf.com をご覧ください。

BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ポートフォリオは、石油・ガスから化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品と多岐にわたります。信頼に応えるパートナー企業として、あらゆる業界のお客様のさらなる成功をサポートしています。BASFは、高付加価値製品と高度なソリューションの提供を通し、温暖化防止やエネルギー効率の向上、栄養改善、モビリティ向上などの世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。従業員数は9万5,000人超、2007年には約580億ユーロの売上

高を計上いたしました。BASF のホームページアドレスは、www.basf.com、BASF ジャパンのホームページアドレスは、www.japan.basf.comです。